

馬術と球技を掛け合わせたスポーツ

ホースボールとは

ホースボールは、馬に乗った選手が革のベルトのついたボールを手で扱い、人馬一体でコート両端にあるゴールへボールを入れ得点を競うスポーツで、4騎対4騎で戦います。激しいタックルやパスをする姿から「ケンタウロスのラグビー」と呼ばれることや、ハリーポッター作品に登場するスポーツになぞられて「馬のクィディッチ」と例えられることもあります。

ホースボールで使用するボール



2022年ホースボールワールドカップに出場する日本代表チームが富里市内で活動中

富里市を拠点に練習を重ねている日本代表チーム「ケンタウロスジャパン」が、世界一を決める2022 FIHB WHR Horseball World Cupに出場します。

本大会には、強豪のフランスやスペイン、ポルトガルをはじめとした11か国が出場して、世界一を争います。

■開催期間 2022年8月15日(月)～20日(土)

■開催国 フランス(ノルマンディー地方のサン＝ロー)



(JHBA提供)

ホースボールワールドカップにご自身も選手として出場する、日本ホースボール協会代表理事の西島さんに、ホースボールの魅力や本大会に懸ける思いなどを伺いました。

始めたきっかけは1枚の写真から

一生打ち込めるものを探していたとき、たまたま手に取った乗馬の雑誌。掲載されていたホースボール「フランス代表の写真」を見て、これだ！と直観。一念発起で仕事を辞め、ホースボールの世界に入りました。しかし、乗馬自体が素人でしたので、まずは乗馬クラブで無給の研修生として働き出しました。

日本とヨーロッパで馬の事を勉強しつつ、独立して活動する場所を探していた頃、知り合いから数珠つなぎで現在の拠点にたどり着きました。

後に富里市がサラブレッドにとっても縁のある歴史を持っている土地だということも知り、運命的なものを感じています。



馬と調和して初めてできる他にない球技

ホースボールは、走る、曲がる、止まるなどの動作が、馬と調和して初めてできる、他にない球技です。馬に乗って走れるようになるだけでも感動しますが、さらに上達して球技ができるのは、他の球技にはない魅力だと思っています。



市長にホースボールを説明する西島代表理事

出場に懸ける思い

2012年に協会が設立してから10年越しのワールドカップ初出場となります。まずは日本の皆さまにホースボールを知ってもらうことが第一で、人馬共に無事に大会を終えたいと考えています。また、試合形式で練習をするには最低でも8頭必要ですが、協会で所有している馬は4頭のみであり、ケガのリスクを考慮し、普段はパスやシュート練習を行っています。馬、設備、資金など色々不足している中で練習を行っているため、今回は海外チームに勝つというよりも、試合ができることへの感謝と、日本は2年後、3年後に「強くなって帰ってくる」と感じてもらえるような試合をして、世界に爪痕を残していきたいと思っています。

国際試合を招致したい

ワールドカップ出場後の目標は、日本の皆さまに実際の試合を生で観戦いただくことです。

具体的には馬を8頭に増頭し、海外チームを招待して、将来は国際試合を招致したいと考えています。



(JHBA提供)

市民の皆さまに楽しんでいただける存在に

富里市は、東京や成田国際空港からのアクセスに恵まれ、歴史的にもかつて日本の競馬を世界レベルに押し上げた社台ファームが存在し、今でも競馬、乗馬、馬術の施設が多く、サラブレッドやその他の馬にも非常に縁の深い土地です。その他にも日本の田園風景、美味しいスイカや野菜があったりと、住み心地も非常に良く、ホースボールを広める核となる拠点として日本で一番良い土地だと思っています。この土地で活動ができることで日本のホースボールが発展できると確信しており、競技を通じて富里市の皆さまに楽しんでいただける存在になりたいと考えておりますので、末永くよろしくお願い致します。

interview



日本ホースボール協会
代表理事 西島 隆史 さん

初代日本代表選手団 ケンタウロスジャパン

【代表選手】

- ・西島 隆史
- ・門屋 南
- ・小林 宏城
- ・長谷川 章博
- ・岸 篤志
- ・榎本 恭之
- ・秋山 史門
- ・田中 将人

【予備選手・

- ・帯同メンバー】
- ・吉川 雄大
- ・段原 亮治
- ・小穴 幸子
- ・坂本 浩子
- ・屋富祖 吉朗
- ・屋富祖 まなみ
- ・風間 秀紀



ケンタウロスジャパンの皆さんと激励に訪れた市長

感謝と志を胸に挑みます